

地域包括ケア複合施設 ウェルネスタウン丘の上

長野県飯田市

設計・監理／アーキディアック

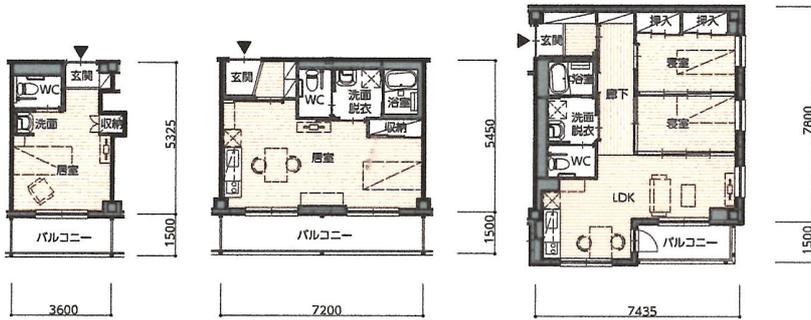
施工／吉川建設

Wellness Town OKANOUE

Archideach Architect & Associates



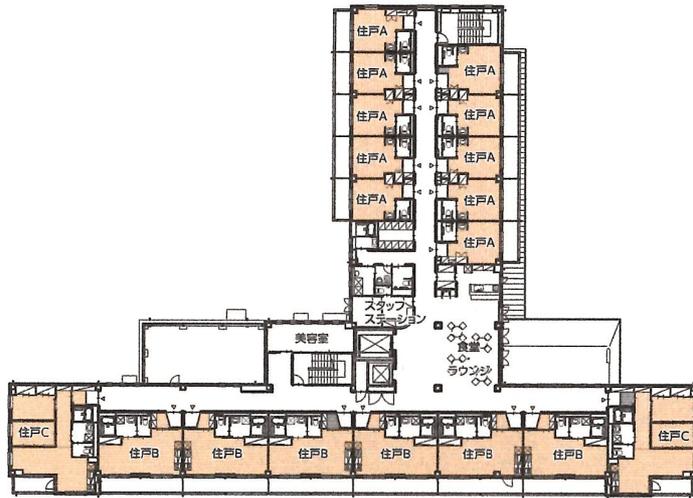
上／北東面外壁 妻面およびバルコニーの軸組に根羽村産の杉材を用い、地域に調和する木造建築のようなイメージの外観 左下／メインエントランス 庇天井に根羽村産杉を用い、人々を暖かく迎える雰囲気とした 右下／エントランスホール 根羽村産の杉丸太を大黒柱として設置。ホールに面して受付、交流サロン、診療所、通所リハビリテーションの入口があり、施設の中心となる空間



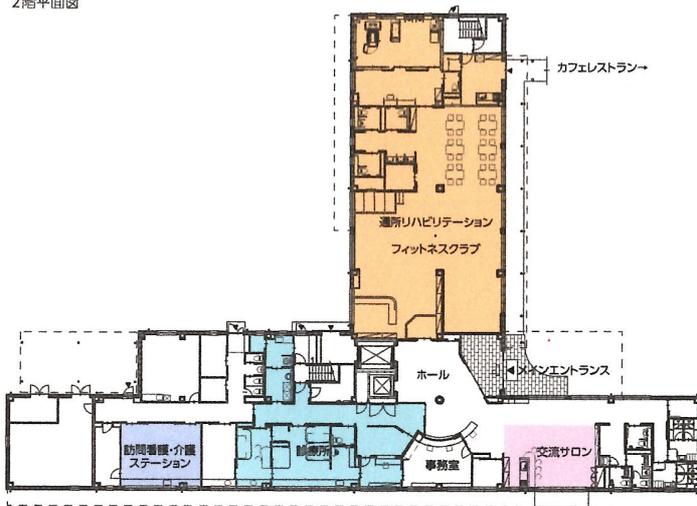
住戸A平面図 縮尺1/250

住戸B平面図

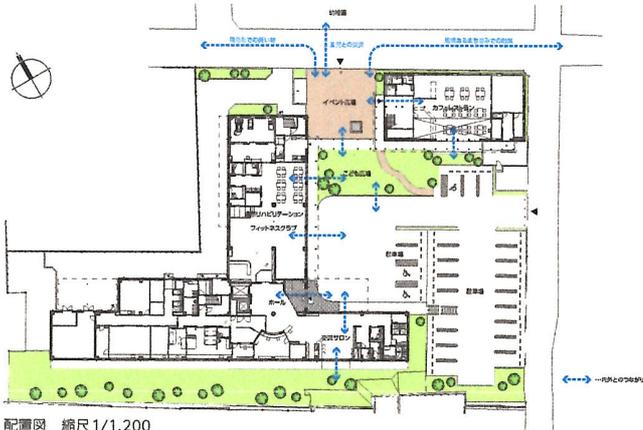
住戸C平面図



2階平面図



1階平面図 縮尺1/600



配置図 縮尺1/1,200



東面外観夜景 ひろばに面して交流サロン、通所リハビリテーション、2・3階ラウンジを設け、外部と一体となる開かれた外観

建築計画概要

敷地は飯田市橋北地区(丘の上)に位置し、周辺には登録有形文化財である下伊那教育会館や旧飯田測候所、日本画家である菱田春草の生誕地などが点在して、歴史あるまち並みを形成している。地域包括ケア複合施設「ウェルネスタウン丘の上」は、サービス付高齢者向け住宅と通所リハビリテーション、診療所、訪問看護・介護ステーションおよび交流サロンを備える複合施設であり、スマートウェルネス住宅等推進事業費補助金を活用して建築された。

敷地内は本施設と既存の酒蔵をリノベーションした建築物の2棟で構成されている。また、敷地は2方向道路に面する角地であり、各道路から歩車を分離して安全にアクセスすることができる。建物の間にはひろばを設け、植栽やベンチを施して、地域の方々や入居者の憩いの場や市内を巡るまち歩きの拠点場所、地域イベントの開催地として利用されている。

外観は歴史的なまち並みに配慮し、飯田地域に残る伝統的な蔵の様式(妻壁の全面がなまこ壁で覆われている形態)をモチーフにデザインした。妻壁は根羽村産の杉板と横桟を設け、外壁は外断熱工法による大壁で漆喰づくりのイメージとした。また、木材の軸組を表して使用したバルコニーなどにより、歴史的意匠に倣うとともに、地場産木材を取入れて地域に呼応した外観をつくっている。1階は診療所や通所リハビリテーション、訪問看護・介護ステーションがあり、地域の医療・福祉の拠点としての役割を担っている。また、フィットネスクラブや交流サロンを併設し、地域の多世帯交流の場として機能している。2・3階は1ルームから1DK、2LDKの3

タイプの住戸が36戸あり、生活形態に応じた多様な暮らしが営まれている。また、内装は地場の根羽杉材を壁や天井に用い、床にはひのきの無垢板を張って、木の香り漂う、温もりと優しさに満ちた空間をつくっている。エントランスホール中央には、大黒柱をイメージした樹齢100年の杉の丸太を原木で建て、施設のシンボルとして利用者に親しまれている。

敷地内にある築100年の酒蔵をレストランとテナントスペースに再生・活用して、入居者はもちろん、地域の方々などの飲食や憩い・交流の場として利用されている。竣工して約1年が経過し、近隣住民にも徐々に親しまれ始めている。今後、この施設が地域の活性化やコミュニティの核として成長・発展して行くことを願っている。

(児野 登、玉川幹夫/アーキディアック)



児野 登……ちごの のぼる
1949年長野県生まれ。1973年明治大学工学部建築学科卒業、1979年児野建築設計事務所設立。1985年12月アーキディアック環境計画研究所に組織変更、代表。2002年アーキディアックに名称変更、代表



玉川 幹夫……たまがわ みきお
1968年長野県生まれ。1993年東海大学第二工学部建設工学科卒業、1994～97年共同建築研究所、1998年～アーキディアック。2011年信州大学大学院工学系研究科修士課程修了。現在、アーキディアック空間設計部部長



通所リハビリテーション ホル幅板を内装に用い、ひろびと一体となる開放的で温かみのある空間



1階カフェレストラン 古材を表して使い、入居者や地域の方々が飲食に利用できる快適な空間



左/2階エレベーターホール 入居者の交流や良事の場となる食堂、ラウンジと、入居者を優しく見守るスタッフステーション 中/住戸C 寝室とLDKの間に建具を設け、独立した部屋としても広いワンルームとしても利用できる ルーフバルコニー住戸空間 右/蔵外観 酒蔵をリノベーションしてレストランやイベント空間に活用



地域包括ケア複合施設 ウェルネスタウン丘の上 データ

所在地 長野県飯田市仲ノ町1-2

主要用途 サービス付高齢者向け住宅

建築主 社会医療法人 栗山会

設計・監理 アーキディアック

担当/総括：児野 登 建築：玉川幹夫、塩原杏子、宮地和明

構造 KFY建築設計 担当/加藤祐一

設備 アイ設計 担当/井上雅直、西原功大

施工 吉川建設 担当/冨谷 央、清水勝彦、田中博英

設計期間 2016年1月～2016年7月

工事期間 2016年9月～2017年7月

【建築概要】

敷地面積 3,704.56㎡

建築面積 1,518.28㎡

延床面積 3,268.68㎡

建ぺい率 40.98% (許容80%)

容積率 85.50% (許容271%)

構造規模 S造 地上3階

最高高さ 13.650m

軒高 10.350m

階高 3.600m、3.300m

天井高さ 2.500m、2.400m

主なスパン 7.2m×7.2m

道路幅員 6.000m

駐車台数 25台

地域地区 近隣商業地域、商業地域

【施設概要】

サービス付高齢者向け住宅(2・3階)住戸種類 Aタイプ：1人部屋×20室 部屋面積18.63～22.37㎡ Bタイプ：1～2人部屋×12室 部屋面積37.89㎡ Cタイプ：2人部屋×4室 部屋面積61.77㎡

併設施設 診療所(内科・リハビリテーション科)、通所リハビリテーション(定員33名)、フィットネスクラブ、訪問看護ステーション、訪問介護ステーション、交流サロン、美容室、カフェレストラン(入居者及び通所リハビリテーション利用者への食事提供、敷地内別棟)

【設備概要】

電気設備 受電方式/高圧受電 変圧器容量/1φ100kVA×2、3φ100kVA

空調設備 空調方式/専用部(住戸)：ルームエアコン 共用部：寒冷地対応ビル用マルチエアコン 熱源/電気衛生設備 給水/受水槽+加圧給水ポンプ 給湯/専用部・共用部：セントラル給湯方式(ガス)、電気温水器 排水/汚水・雑排水合流方式

防災設備 消火/パッケージ型消火設備 排煙/自然排煙

昇降機 乗用11人乗、寝台用15人 計2基

【主な外部仕上げ】

屋根 和瓦

外壁 複層塗材、杉小幅板

建具 アルミ製建具

外構 インターロッキング舗装、アスファルト舗装、植栽

【主な内部仕上げ】

専用部住戸居室 床/根羽村産ヒノキフローリング 壁・天井/ビニルクロス

ラウンジ 床/ビニルタイル 壁/根羽村産杉小幅板+ビニルクロス 天井/根羽村産杉小幅板

撮影/ACC

協力会社

電気設備工事	東陽興業
機械設備工事	金澤工業
地盤改良工事(エルニード工法)	本久基礎建設部
アルミ製建具工事	Y K K A P
鋼製建具工事	文化シヤッター
鋼製建具工事・ガラス工事	丸山硝子
防水工事	仙
ユニットバスシステムキッチンタイル工事	炭平コーポレーション